

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	アイソトポログによる地球表層環境診断
研究代表者	吉田 尚弘 (東京工業大学・物質理工学院・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>自然環境には発生源が異なる様々な物質が存在しており、その特定や人間活動による影響の程度を評価できる技術開発は、環境研究のホットスポットである。</p> <p>アイソトポログ分析技術は、環境物質の発生源や動態を、従来に比べて格段に高い確度と精度で明らかにできる可能性を有している。</p> <p>本研究は、地球環境での動態解明が特に重要な温室効果ガス等の物質を対象に、同技術の開発と適用を目的としている。試料採取も含め環境診断技術として確立できれば、波及効果は非常に高い。</p> <p>応募者は世界に先駆けて様々なアイソトポログ分析技術を開発し、国際的にも高い評価を得ている。</p> <p>最先端の研究資源を活かすことで、当該分野をリードし、日本が世界に誇れる研究として発展することが期待できることから、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>